

2010年・記録会は 8月15日(日)HLG(公園用)、PLGはともにグリーンパークです!

2010年・記録会は 9月19日(日)HLG(ちびた)、PLGはともにグリーンパークです

夏の真っ盛り、居間の窓にもうけた緑のすだれが目涼しい。昨年と同じゴーヤを6本ほど植え、2階のベランダから垂らした網に登らせているが見事な実が成る。ゴーヤは真夏の色の濃い緑色が食べ頃だが、秋には金色になって美しい。毎朝ゴーヤから日が透けて見え、それを眺めながらのコーヒーも素晴らしい。ゴーヤとベーコン、卵の炒め物はビールにピッタリだし、自家製だと思つても何とも幸せな気分になる。ゴーヤが金色になって、ヒコーキの季節が来るのが待ち遠しい。

記録会報告	10/6月記録会HLG/PLG、 新潟夏期合宿報告	10/7月記録会報告
お知らせ	まったけ大会案内 22年FF日本選手権案内	朱鷺カップ案内
FFサロン	LP用カーボンメタルの作方・高田富造 デンキドリの迷走	LPプロペラの削り方
雑談天国 編集雑記	美しい飛行機・1	新潟発・キ54の作業台

2010年4記録会の報告(HLG/CLG)

6月HLG記録会報告

……平尾

久しぶりの松伏公園で、公園内での記録会をはじめでした。昨年、工事中だった休憩所が広場の側に出来上がって、素晴らしい日陰を提供してくれます。この休憩所、周囲に壁がなく風が吹き通る構造でトイレ、ベンチ、自動販売機等が揃っていて快適です。これでは、松伏公園が好きに成らざるを得ないでしょう。ここは駐車場も広くタダだし広さはグリーンパークには及びませんが、周囲の樹が以外と低く飛ばしやすい。低木で葉っぱも少ないのでヒコーキの回収は楽です。この日、敷地ギリギリにまで飛んだヒコーキは少なく、日曜日なのに人も少なく素晴らしい。さて、勝負の方は……

公園用のスパン36cm以下の記録会なので、ほぼ機体の優劣はなく腕力の勝負です。そうなるし何せ上高く上がってショウモない斉藤浩選手が断然有利、しかし、そこはランチャーズ、そんな甘い事はオマヘン。と云うことで吉田、稲葉、相沢その他腕に覚えのある各選手が投げる。

この日は軽い西風が家並みを超えて吹いてくるが、サーマルがどうも解りにくい。場所が新しいと気流が読めないのは当然だが、各選手、時間の経過とともにサーマルを捕らえはじめて、後半徐々にマックスが増えた。まずは稲葉選手、地元だし脂ぎった中年のイヤらしさでジリジリと追い上げ最後のギリギリ2投で5マックスの優勝。斉藤宏選手はガンガン飛ばして4マックスまでいったが、最後の1投が何と3.9秒、あ……で2位。平尾は完璧だと思っていた機体が3機ともヘン、2機は胴体の剥がれプラス主翼の割れ、さらに滑空時の突っ込み等で、この日はお手上げです。地元新人の北村選手は年甲斐もなく肩もイイし投げもイイ、もうチョイの1.90秒、4位はおいしい、ヒコーキのチョットした工夫で次回優勝間違いなし。相沢怪鳥は始めダメ、しだいに調子を上げたが3マックスで時間切れ5位、毎回優勝もアリか。吉田選手は相変わらずの早投げ1マックスでスカスカと終わり6位。7位は飲酒運転の平岩選手、当分様子見かな。8位はいつも楽しそうに投げる斉藤パパ、この成績はヒコーキだろうな。手負いの三俣選手はまだまだ完調にはほど遠いがよくやっている。

4月HLG記録 4月18日吉見公園、晴、3～5度、北風1～3m、60秒MAX 5 / 10投

NO	選手名	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	合計	F 1	F 2	総計
1	斉藤 浩	58	50	42	60	60	60	40	60	60		300	80		380
2	野中正治	60	59	60	40	60	57	60	60			300	44/35		344
3	平尾寿康	60	60	60	05	60	41	43	57	37	60	300	42/37		342
4	稲葉 元	33	29	60	60	52	29	33	54	60	60	294			294
5	下田多門	51	60	60	50	60	32	22				281			281
6	斉藤勝夫	27	38	40	51	54	50	10	30	10	43	238			238
7	平岩 保	35	32	37	38	28	21	60	46	50	12	231			231
7	吉田利徳	05	47	33	60	40	46	06	38	54	34	231			231
9	相沢泰男	30	21	28	27	44	25	45	24	17	09	174			174
10	三俣 豊	23	23	27	20	40	28	29	07			157			157
11	梅津和則	24	19	19	27	26	31	36	21	28		143			143

6月PLG記録会報告

……河田

精鋭6人が45秒MAX、5/10で競いました。8射で5max.の斉藤さんがいつものボヤキながら、FOで1年ぶりにCUPを手に入れました。精進した結果でしょう。

X氏打倒を公言して臨んだ工藤さんFOで2位残念。次回以降もその心意気でCUPを狙ってください。「空気を讀ん」で10射で執念の5max.を出した原さんが3位、CUPが近づいてきました。昨年2勝した吉本さんは絶不調、小手先だけの機体調整が原因かも。この日は久しぶりに、HLGから離れられない諸兄に久しぶりにお会いできました。以上河田 健

半年ぶりによく、パチンコの方々とお会い出来て良かったです。皆さん、年をとって、つまらないヒコーキでかたくなに頑固に戦っているお元気な姿に感心しました。一時よりは人数は少ないながら嬉々として励んでいるのはイいものですね。その点はHLGも変わりませんが、やや若い選手が決して老人をいたわらない姿はどんなものでしょうか。久しぶりの松伏公園は様々な設備が備わって、ますます使いやすくなり、当分はヒコーキの公園としてお世話になれそうです。ここは老人向きで素晴らしいと思います。ランチーズ以外の方も来ているようで、いずれ大宮田んぼ的雰囲気にもなれば素晴らしいですが……。

4月PLG記録 4月18日松伏公園、晴、10度、北風0～3m、45秒MAX 5 / 10投

NO	氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	小計	F1	F2	総計
1	河田 健	45	34	45	45	45	45					225	90,	28/51	366
2	原 国光	45	45	45	41	45	45					225	90,	37/30	352
3	吉本凌一	21	45	45	45	33	45	45				225	40/58		283
4	加藤紀一郎	42	45	41	45	45	43	45	34	45		225	49/38		274
5	斉藤竹彦	38	45	45	41	45	21	40	45	45		225	30/15		255
6	林 三郎	45	36	22	41	45	39	14	44	30	45	220			220
7	工藤陽久	05	14	39	45	32	06	45	45	33	45	219			219
8	中野志郎	37	34	45	22	30	28	45	32	30	45	206			206

2010年7記録会の結果(HLG / CLG)

7月HLG記録会報告

……平尾

松伏公園での2回目の記録会である。前日に梅雨が明けて結構な暑さだが、ほどほどに風があつて過ごしやすい。また、風上側に大きな屋根付き休憩所があるので、暑い夏まことにぐわいがイイ。

朝から西風で投げると40秒マックスで、デサを巧くセットしないとトンボ池(ドボン池ではない??)に入る。競技開始後当分はこの風で、選手一同気にしながらの娯婦(ん・間違い 勝負)であった。

開始と同時にガンガン行ったのが神経のニブイ斉藤浩選手で、さっさと5マックスと可愛くない。次いでダークホースの地元大江選手が5マックスと追っかける。平尾は前半4マックス(36センチクラスは38秒はいかないとおかしい...)と楽勝ムードだったのにヒコーキが突然発狂するわ、暑さで崩れるわで197秒は年齢相応か。地元野球投げの北村選手もお年の割に、と言うより文句なく高度抜群、聞くと草野球のキッチャーとか、1マックスのみながら189秒の4位はヒコーキが悪いわ。平岩選手はめずらしく調子が良く前半2マックス、しかし、いつものごとく失速して、しかし188秒5位は立派。小型機となると俄然出っ張ってくるのが相沢怪鳥で、2マックスながら187秒と、定年であと一息が続かないで6位、本命の1人・稲葉選手は調子が出ず2マックスで終了の7位、やはり賞品ないとアカンみたい。

室内機の石井満選手は何か決まらず2マックスの同7位、頭の中の航空力学がおかしいのでは。

療養中の三俣選手はそこそこ157秒を出しての9位、足腰がまだかな。最後に、あれ、こんな所に・は久保選手、129秒はイカンネ、飛ぶヒコーキは日本人設計だぜ。

結局残ったのは斉藤浩選手と大江選手、フライオフ時には風が方向を変えて北(長手方向)に飛び出したので発航場所を変えて、1分勝負となった。年はとっているもののフライオフ経験のない大江選手は欲がなく、さっさと投げて25秒、32秒と斉藤浩選手を楽させて2位、浩は最後にマックスで決めて良し。この記録会、何と180秒以上が7/10名と素晴らしいのです。松伏に来ての効果が徐々に出てきて、HLGは新人(高齢者を含む)がゾクゾクと参加して嬉しい。パチンコも同様で、競技もこれまでと変化がありそうで、佳し。

7月HLG記録 7月18日松伏公園、晴、28度、1~3m、40秒MAX 5/10投

NO	選手名	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	合計	F 1	F 2	総計
1	斉藤 浩	40	31	40	39	40	40	23	40			200	26/60		260
2	大江 賢	16	40	40	33	40	28	40	40			200	25/32		232
3	平尾寿康	40	40	40	37	40	27	11	28	26	34	197			197
4	北村貞夫	39	40	33	25	19	23	38	39	23	16	189			189
5	平岩 保	34	40	14	23	40	34	40	24	22	28	188			188
6	相沢泰男	40	22	22	29	37	30	36	22	40	34	187			187
7	石井 満	37	40	26	29	33	40	21	30	30	36	186			186
7	稲葉 元	31	25	37	40	25	21	30	40	30	38	186			186
9	三俣 豊	19	39	20	31	30	17	22	19	29	17	157			157
10	久保晃英	12	10	17	17	25	40	19	03	04	28	129			129

7月PLG記録会報告

.....工藤

今回は、光が丘・松戸勢あわせて4名というさびしい記録会となるどころでしたが、岡田さんとHLGの石井満さん、さらに地元の方3名にも参加していただき、9人というにぎやかな記録会になりました。

また、優勝者には仁木さん製作のライトプレーンが贈られるということで、参加者それぞれが優勝を目指して打ち上げに望みました。河田さんが所用で欠席しましたので、全員に優勝の可能性のある中で、原さんと工藤が5MAXでフライオフに進み、工藤が6ヶ月ぶりに優勝という結果でした(鬼のいぬまに洗濯です)。

この日は風もそこそこ、まずまずでフライオフまで行ったようです。しかし、西風なので、ウカウカすると池ポチャ、精神的にはこの辺りが引っかかった人はボツ、何くそと頑張った選手は脈ありで成績が別れたと思います。今回の参加者には幸運にも「鬼の河田」が欠席したので、別な意味で全員闘志満々??となったのでしょうか、どうですが。

7月PLG記録 7月18日松伏公園、晴、29度、風1~3m、45秒MAX 5/10投

NO	氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	小計	F1	F2	総計
1	工藤陽久	45	45	45	45	34	45					225	40/		265
2	原 国光	33	27	45	34	45	45	45	27	45		225	27/21		252

3	岡田光一	32	28	17	27	45	45	45	31	42	45	222		222
4	斉藤竹彦	13	33	31	45	39	43	37	35	45	31	207		207
5	鰐淵	44	24	22	25	42	31	41	27	45	25	203		203
6	吉本凌一	23	14	12	42	26	20	20	30	45	20	188		188
7	浜口裕康	22	18	18	24	17	38	45	25	25	28	161		161
8	石井 満	19	04	11	13	24	17	28	06	24		112		112
9	美馬	22	45									67		67

2010年8月・新潟フリーフライトクラブ合宿「飲まれてしまった仁木機」

7月31日～8月1日、新潟県阿賀野市工業団地で夏期合宿がありました。近年、FFの衰退を示すように宿泊者は10名と少なめ、但し日曜日はヒコーキを持って集まった人は18名と素晴らしい。

31日曇天、風2～4mとまずまずのコンディション、相沢氏と私は11時半頃到着しまずはビール。挨拶も終わり一息ついて、まずは今回テーマのライトプレーンです。今回新潟衆の為に仁木機を1機持参し、寄付と交換で頒布(仁木さんには相談していないが、今回で10機が新潟に定着した)。まず、仁木機を見て、檜ペラに「もっと欲しい」と感心、そして紙張りを見て「この模様紙は何処で売っているの…」、で「売っていない、貼り合わせ」と聞くと黙ってしまう。

寄付の半分はこの夜の飲み会にまわり、そうです、仁木機はみんなで飲まれたのです。この日泊まったのは10名でしたが、夕食時は思う存分ヒコーキの話で延々3時間、競技機、ピーナッツ、ライトプレーン、HLG、Uコン、パイロンレース、ラジコンと話の範囲もハチャメチャでなかなか終わりません。

飲足りない奴や途中で寝てる奴もいて「仁木機が足りない」とは誰も言いませんでしたが…。これで新潟でも仁木さんが認知されました。

翌日曜日は6時にはもう飛行場に到着して嬉々としてヒコーキです。この日は曇天無風、気温も夏の割にはそこそこで機体調整にはモチコイでした。東京を夜中3時にスタートして小平さんと松岡さんが朝到着、イヤーこの年より気が狂っている。結局集まったのは夏の死を恐れない18名と大盛況。

今回合宿の目玉、ライトプレーン競技が8時スタートです。皆さん、その為の調整に余念がない。

しかし、意地があるのかみんな自作機を取り出し、いきなり「仁木機」は飛ばさない。仁木機のお披露目に吉田さんが数回飛ばすと、あまりの高度に「大丈夫か、大丈夫か」と羨しい。何度か危ない目に合いながらも全回無事回収した。「これでも仁木さんは最近、中々勝てないらしいよ」の説明に「どういう事よ」、初めて見た人は、ま・そうでしょうね。「ライトプレーンがこんなに飛ぶんだ」と言うことが認知されて、今年から新潟もライトプレーンが乱舞するでしょう。最も困るのは仁木機を戸棚に仕舞う人がいることです。次の名古屋は電車で行くので沢山は持って行かれないのでどうするか…。

お知らせ

2010年松茸大会(中部秋季競技会)案内(予定)

開催年月日	2010年9月26日(日) 時刻:AM08時30分から
主催	中部フリーフライトクラブ
場所	三重県鈴鹿市池田町タンボ
参加費	1種目2000円、2種目参加の場合は+1000円、ただし中学生以下は無料。参加費は競技当日に各種目の実行委員にお渡し願います。
種目	HLG,F1G,F1H,F1J,G,R,E,小型混合級 エンジン機(E級・F1J) 2分max 5ラウンド グライダー(G級・F1H) " ゴム動力機(R級・F1G) " ハンドランチグライダー1分max5R(各ラウンド2投のうち上位タイム)

- 小型混合級1分max 3ラウンド
- そ の 他 参加者が少数の種目の場合は、数種目を統合して順位を決定する場合がありますので、ご了承下さい。
- 競技中の事故等については、参加選手各自で対応する。天候等の理由によりラウンド数を変更することがある。作業中の農家の方々には、こちらから積極的に挨拶してください。デサマには必ず火縄落下防止装置をつけてください。
- 小型混合級はスパン30インチ以下、ゴム重量10g以下の機体なら何でもOK。
- 連 絡 先 中部FF会長吉川広、実行委員E級・F1J吉川強、G級・F1H佐藤宏彦R級、F1G吉田潤、ハンドランチ掛山吉行、小型混合級竹内栄重

第2回HLG競技会(朱鷺カップ)案内

- 開催年月日: 2010年10月17日(日)午前8時受付開始、9時競技開始、
- 主 催: 新潟FFC
- 場 所: 新潟市笠巻たんぼ(4月のフリーフライト国際級競技会開催地)
- 参 加 費: 参加費無料(鴉カップ制作費カンパお願いします)
- 種 目: HLG - A(手投げグライダー)
HLG - B(手投げグライダー)
- 競技方法等: 9時~11時30分の間に60秒MAXで10回飛行、うち5回の合計。
11時30分から決勝飛行
機体数は5機まで受付で確認。個別識別記号(名前など)を記入のこと。
詳細な競技の方法は、状況によりミーティングで発表します。
DTの火縄、線香等落下防止機構を装備していること(機体検査あり)
競技中の事故等は競技者の自己責任でお願いいたします。
風向き等で競技の中断の指示には直ちに飛行を停止すること。
HLG - A 翼幅360mm以上(翼長、重量制限なし)
HLG - B 翼幅160mm以上360mm以下(紙HLGも可能)
- 参 加 費: 参加費無料(鴉カップ制作費カンパお願いします)
- そ の 他: 笠巻たんぼから5kmほどの所にビジネス旅館「アーバンIN黒崎」があり、1泊5千円以内(4800円?)です。会場には駐車場、トイレ、あります。
- 注意事項: 当日受付等参加者、同伴者をご協力ください。
ゴミ箱はありませんので、各自で持ち帰りください。競技スポットでの喫煙はご遠慮ください。特に、吸殻やゴミの投げ捨ては厳禁です。
- 大会役員等: 大会委員長 細海 修(新潟FFC)、大会競技委員長 笠井修一(新潟FFC)
競技委員 細海(兄)、吉田利徳

平成22年度模型航空FF・F1A, B, C日本選手権要綱(詳細は別途確認の事)

- 主 催 日本模型航空連盟 日本航空協会公認
- 期 日 平成22(2010)年10月29日(金)、30(土)、31(日)
- 会 場 千葉県旭市干潟町万歳
- 種 目 フリーフライト F1A, F1B, F1C
- 規 定 FAI スポーツ規定に準拠
- 参加資格 日本国籍を有する選手権期間中有効の模型飛行士登録者
- 役 員 選手権委員長・日本模型航空連盟会長 落合一夫、競技委員長 吉田利徳、
競技副委員長 坂巻敏雄(A担当)、和田光信(B担当) 谷塚正実(C担当)
陪審員 日本模型航空連盟会長 落合一夫 他に競技役員

申込方法	所定の申込書(郵便振替用紙)に必要事項を記入し期日までに参加費と宿泊を振り込む。いったん納入した参加費と宿泊費は理由の如何を問わず返却しない。
締切日	平成22(2010)年9月3日(金)(消印有効)
参加費	8,000円(1種目)
宿泊等	原則として宿泊場所は自由である。ただし10月29日の受付・開会式・ミーティングに出席すること。宿舍の斡旋を希望する参加は、申込書に宿舍の斡旋の要否について記載すること(1泊9,600円)
斡旋 宿舍	食彩の宿いいおか(飯岡荘) 千葉県旭市荻園 1437 0479-57-2661
食事	斡旋する宿舍では、宿泊日の夕食は宿泊費に含まれる。
同伴者	選手と同様に同伴者の宿泊を斡旋する(1泊9,600円)申込用紙に記載の事
参加受理	参加申込をした会員には受理書を送付する。選手は受付時間内に本部(宿舍)に参加受理書、機体仕様書を提出すること。
受付	10月29日(金)16時~17時30分の時間内に宿舍本部に必要書類を提出する。都合により時間内到着が出来ない場合、予め連絡する。また、下記機体検査等を希望する選手は受付時にその旨申し出る。
機体検査	主催者は機体仕様書に基づき、機体の仕様確認と模型飛行士登録番号を確認する。原則として競技前の機体検査は行わない。別途、F1Aについては曳航索、F1Bについてはゴム重量について検査を行うことがある。また、選手が希望した場合は機体検査を行う。但し、競技中随時抜取り検査を行う。不合格の場合、それ以前の記録は全て無効となる。
選手の責務	選手は他種目の役員をする。不可能な場合には代理人を立て、参加申込書に記入する。役員としての業務を怠った場合、および本要綱に正当な理由なく違反した場合には当該選手の競技記録の一部または全部を取り消すことがある。
競技方法	競技は2010年有効のFAIスポーツ規定に準拠した公式飛行と決勝飛行を行い、選手権者および順位を決定する。天候などの状況によって競技を延期または中止することがある。延期の場合は追って発表する。
損害賠償	人畜、土地、建物その他の物件に対し競技その他により損害を与え賠償が必要な場合は、当該選手が全額を負担する。
世界選候補	平成21年度、22年度の本選手権の持点を合計し、上位より順番に次回世界選手権の日本チームの選手となる資格が与えられる。
日程	10月29日(金)16~17時受付、17時半開会式およびミーティング、18時~夕食、 10月30日(土) F1Bの競技 7:00-13:55、FO1-14:30~ FO2-15:10~ 10月31日(日) F1ACの競技 7:00-13:55、FO1-14:30~ FO2-15:10~、 そのあと閉会式、参考 日の出 6:04 / 日の入り 16:42
連絡先	事務局。又はFF委員会事務局田久保潤一 090-3227-1744 (携帯)

FF文化サロン

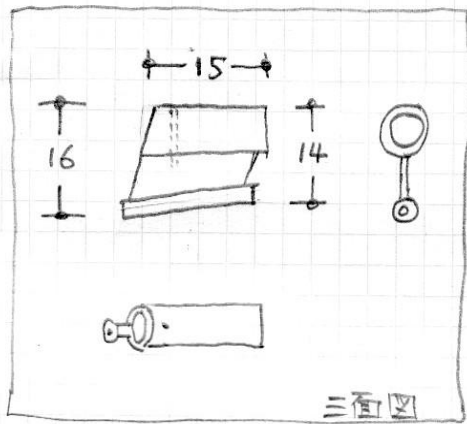
カーボン製LP用コメタルの作り方

・・・KFC高田富造

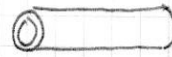
LPの隆盛にはうれしくなります。若い世代の参入が目立ちます。関西で言えば岡Zさんとか。LPをたちまちマスターしてF1Bに躰進です。わたしの期待するFFの流れを作ってくれています。

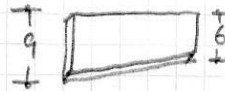
同時に往年の名選手の受け皿にもなっています。Y岡大先生とか。そこには平尾老人が言うように、仁木プロジェクトの影響と供給があります。仁木さんたち関東勢の隆盛の後には石井大先輩の存在がありました。F1Bをきわめて、石井翼型というピラミッドを打ち立てた方です。F1Bの到達点をLPにフィードバックさせてくれました。ここにはLP世界の袋小路はありません。岡Zさんや吉田JーさんのようにF1Bに自然に進みます。わたしは袋小路に滞在させない立場です。


さて、プロペラは仁木さん、石井さんの削りだしがスタンダードになりましたが、そこにくっつく脇役のコメタルにもいろいろな流派があります。仁木さんは航空ベニヤで箱を形成します。石井さんともどもスラストラインは固定です。まあ、極めているので自分のスラストは分かっているのです。他に




(材料)

 内径5φ外径6φ
長さ20mm
カーボンパイプ

 0.8t
航空ベニヤ

 内径1.5φ外径2.1φ
真鍮11φ7φ

 1φピアノ線
(固定用ピン)

片持ちのピアノ線に真鍮パイプを半田付けしたものの、アルミ削りだしでスラスト可変のもの、など。わたしは貧乏なこともあります。従来はプラスチック製コメタルを愛用しています。A級用は駄目です。くにくにやでスラストが決まりません。B級用がグッドです。しっかりして



いますし、ねじって微調整しても戻りません。これをスタンダードにして胴体側の差込みサイズを決めています。ところが胴体などにカーボンを多用するようになって、なにか格好をつけたくなってカーボン製のコメタルを導入しました。ご紹介します。

重量は0.6~0.8gです。ダウンスラストは主翼と水平尾翼の迎角を共に±することで変更します。私の場合主翼はパイロンと別ですので楽ちんです。サイドスラストはラジオペンチで挟んでメキッと曲げています。ひびに瞬間をちょんします。実際はいくつかのタイプを

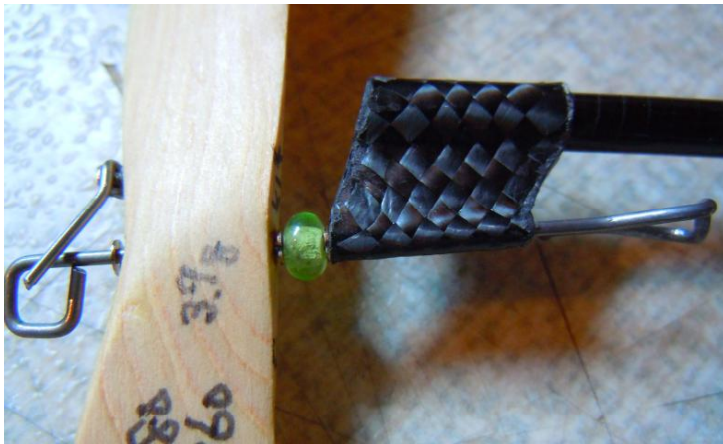


作っておきますがね。なおプロペラ材料は、仁木さん譲りの米ヒバとホームセンターの25mm角檜棒です。関西のホームセンターは吉野檜の端材でやっているの探せば当たりが出ます。

1. 材料。

胴体を外径5mm(内径4mm)カーボンパイプを使用していますので、受けとして内径5mm(外径6mm)カーボンパイプを用意します。東急ハンズの「5-6」という表示のものが軽い上に普通の5mmパイプがうまく入るので利用しています。もちろんHLGのテールパイプの残りでっせ。内径1.5mm外径2.1mmの真鍮パイプ。プロペラシャフトに1.2mmピアノ線を使うため。0.8mmぐらいの航空ベニヤ。1mmのピアノ線。

バイアスに切り出した20mm×50mmぐらいのカーボンクロス(格好つけるだけなのでグラスでも重量は変わらない)。化粧用のカーボンクロスシートちょびっと。



完成したカーボンコメタル

2. 作る手順。

1. 6mmカーボンパイプに台形に切り出した航空ベニヤを瞬間接着剤で固定する。
2. 続いて真鍮パイプを固定する。初めにちょん付けで仮止めしてサイドスラストを決めてからしっかり固定する。
3. サランラップの上にエポキシを塗り広げカーボクロスを置き、さらにサランラップを重ねてからFRP作業用ローラーで余分なエポキシを絞り出す。へらやキッチンペーパーも併用し十分に。但し小さいものなので余り気にしない。
4. 上のサランラップをめくってサロンパスの

ようにしてコメタルの骨組みに巻きつける。海苔巻きの変領。サランラップを絞る。両サイドのくぼみに角材を当てクリップで押さえて固着を待つ。

5. コメタルの前後を糸鋸で切り出し整形する。前後の断面はカーボクロスシートで化粧する。

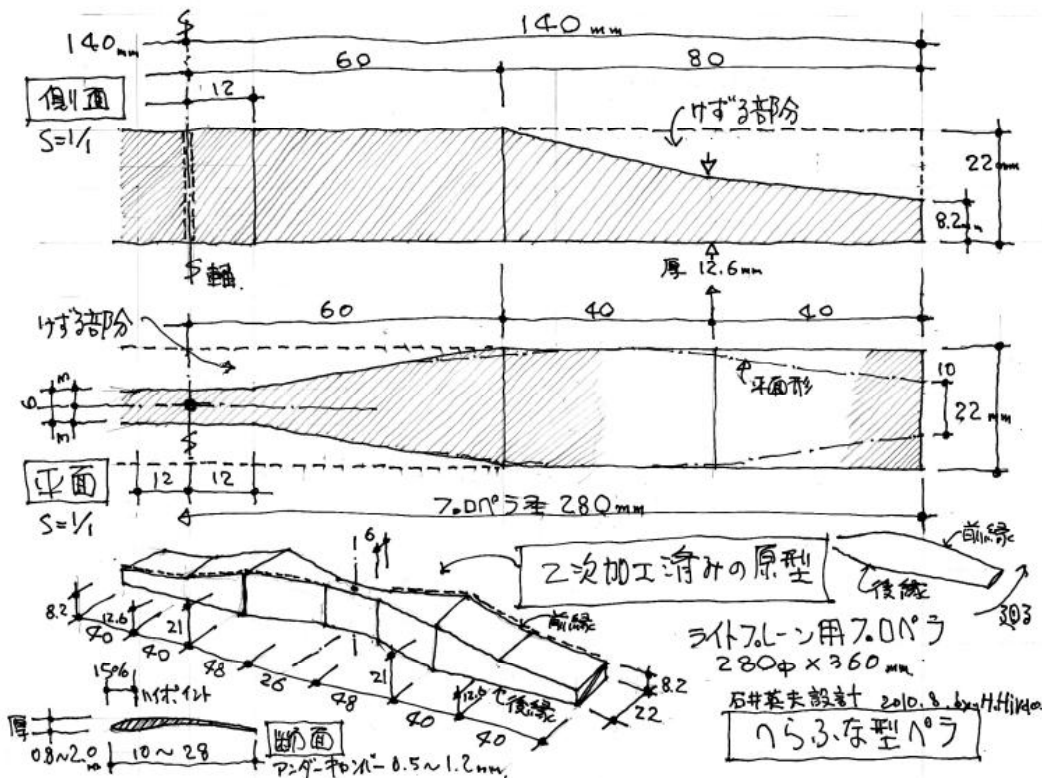
6. 前方から3mmあたりに垂直に1mmピアノ線を差込み瞬間を気持ちだけちょっと。

7. 胴体は前方の上下に幅1mm奥行き5mmほどの溝を丁寧に刻む。コメタルの回転防止。

蛇足：

細かいことですが、軸受けに真鍮パイプを入れていますのでベアリングにビーズを使うなら両サイドに1.4mm座金を挟みます。空転金具の固定は1.4mmビスを使っています。1mm、1.4mm、1.7mmなどの極細ねじや座金、ナットなどは日本橋のナニワネジが安くて豊富です。テールパイプの後端のDTライン出口には極小鳩目、トイゼンマイのタイマーには8mmプラねじ、これらも同店が安い。DVD店に挟まれているので入口を間違えないでね。

ライトプレーン用プロペラの削り方



……平尾

石井英夫氏ではありませんが、今時なぜライトプレーンのプロペラ削りなのか……ですが、私の近所のLP屋が、またまた一斉に発狂して「プロペラ削り」が始まったのです。プロペラ発情をするには早すぎるのですが、始まっちゃったら仕方がないではありませんか。

長年FFをやっていると、プロペラ削りは避け

て通れない道なのですが、それが何で小型のライトプレーンにまで蔓延するのか。いくら消毒をしても予防接種をしても感染しちゃったら仕方がない…。が、この病気がはじまると、やたらと質問をされて肝心のヒコーキが飛ばせない。で、仕方なく記事にすることにしました。ところがどうすればプロペラ削りが書いた物だけで理解されるかは全く自信がありません。昨年、たまたま模型ヒコーキの写真本を手伝った実績があるので、この手で、写真を多用すればイケルかも知れないと、淡い望みをかけて発進です。

1. 材料えらび

図面では21mm×22mm×280mmの棒材が必要です。初心者にはまずはバルサから始めること



をお勧めしますが、エイヤと堅木から始めたい人もいでしょう。その方々には檜、ヒバ、朴、最近ではホワイトウッドなる木等、ユニディー日曜大工店等で売っている材木の中から良さそう(軽い物)なものを選んでください。バルサ角材の場合の比重は0.2前後(赤見の重めのもの)、堅木の場合はまず材料の寸法が問題です。仁木さんの図面を見ると21mm×30mm(1寸×7分)の角材とありますが、最近はこの手の材料は売っていません。そこで24mm~30mm角材から選ぶか、又は、まな板を使う手もあります。まず、木材の所に座り込んで、そこにある材50本程度をつかみ取って、一本一本手で軽い材を選び出します。平均的な比重(ヒバ、檜、スプルース等)は、0.4以上ありますが、その中の軽いものを選ぶと0.3台です。その選んだ中から、曲がりがなく色が白くて木目が積んで揃っているものを選びます。すると1/50本くらいの確率で良い材があるはずで

す。写真の材は25mm角の長さ910mmのホワイトウッドで比重は0.34でした。木の種類はいろいろありますが、その中で目が揃っていて軽い物(比重0.3程度)を選べば、まず使えます。

2. 元材からの切り出し(1次加工)

素材はバルサの場合は25mm角のハードバルサ(比重0.2)か、堅木の場合は比重0.3程度の材、写真はホワイトウッド25mm角の棒材から

2次加工・左右面を削る(2次加工完了)

削りだしたものです。まず25mmの角材から21mm×22mm×285mmの寸法の材を作りますが、長さは鋸で切り、その後はカンナで削りました。板から採る場合は、まず鋸で寸法+2mm程度の大きめに材を切り出し、そこからカンナで規定寸法に削ります。さらにサンドペーパーで規定寸法+-0.1mm程度の大きさに仕上げます。次に正確に材のセンターを記入して、そこに小さめの軸穴(1.5~2.0)を垂直に開けてください。加工した後は正確な軸穴は開けられませんので、かならず1次加工時にやってください。



3次加工・下面片側を削る。



左右下面の削りが完了し上面の荒削り



下面に型板を当て型どりをする。

下面を仕上げた後、端部上面を平均厚さ2.5mm程度に荒削りする。ここも曲面になるので、逆目でえぐれないようにナイフを細かく動かすが、この作業はザットでよい。

7. プロペラ平面型を写し取る

おおよそペラの形になったら、下面にケント紙で作った平面型を貼り付けて型どりする。細かいマジックペン丁寧に型取りをして、それに沿ってナイフで概略仕上げ、その後サンドペーパーで正確な平面型に仕上げる。注：平面型は好みでイイが、ヘラブナタイプにする場合は、根本部分が太く先端で

21mm×22mm×280mmの大きさの材の重さはバルサで25g～30g、堅木で40g～50gになります。材料によつての重量差がありますがペラに削り上がるとバルサで2g、堅木が4g程度に収まるので、ご心配なく。

1. 1次材(21×22×28

5) 4面に寸法線の記入

細かいマジックペンで寸法取りをし、丁寧に寸法線を書き入れる。これは重要な作業で、正確なプロペラを作るには欠かせない作業です。写真は材料の4面(上下左右)に線を書き入れて、上下に切取る部分を赤塗りにしてあります。側面の切り取りの面には塗っていません。

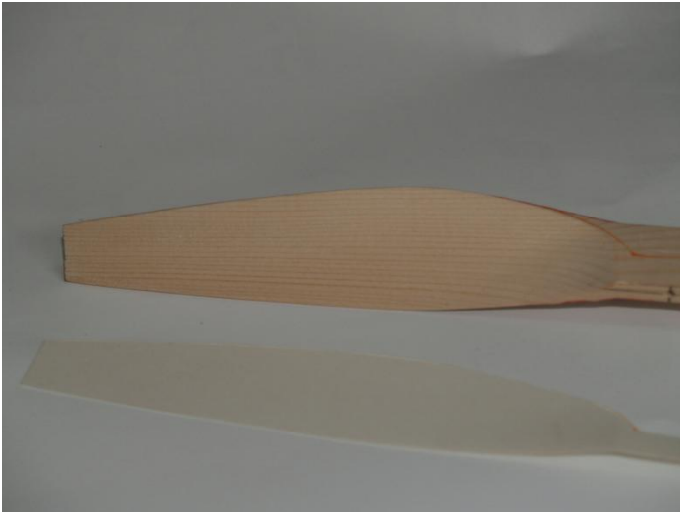
4. 寸法線にそつて2次加工をする。

記入した寸法線に沿つて材を削る場合、研ぎに自信のある人は切り出しナイフや肥後守を使えばいいが、研げない人でオルファ等の幅広カッターナイフを使う場合は、必ず新品の歯を使う。怪我をしない最善の方法は、切れるナイフを使うことである。変にケチると痛い目にあうので、工作中に切れなくなつたら迷わず新品に交換する。2次加工は丁寧に正確に仕上げる。まず中心部分側面(写真では赤い部分)を丁寧に削つて左右を対称に仕上げる。次に端部上面を斜めに削りおとする。そしてエッジ部分はサンドペーパーで仕上げる。

5. 3次加工1・プロペラの下面を削る。

3次加工の最初は端部両下面の削り出しで、これでプロペラピッチが決まる。下面の凹みを削る時はナイフの歯をプロペラの長手方向(縦)に持つて横に削るのがコツで、この時両手とも材料に付けて放さないで少しづつ(1カットは10mm程度)ナイフを使う。手を浮かして急いでやると、材を切り飛ばしたり手をザックリ切ったりする。下面はプロペラのイメージをしっかり頭に描いて、サンドペーパーでツルツルに仕上げる。この作業は最も重要な作業でこれでピッチが決まり、下面のアンダーキャンバーでプロペラ効率が大きく変わるので、ジグを使って正確な凹曲線に仕上げる。

6. 3次加工2・大ざつぱに上面を削る



型紙と下面の仕上げ



チェック用ジグとシャフト、ワッシャー



完成したペラと空転装置

絞る。先端は角でも丸でも可。

8. 上面の仕上げ加工

平面型が出来たら上面を根元厚2mm、先端で厚0.8mm程度になるように、全体の厚みを平らにそろえる。その後上面前縁から2~5mm辺りにプロペラ翼型のハイポペイント線を書き入れて、線を残すようにその前後を翼型に仕上げる。最後に前縁は少しそぎ上げる。その後前縁先端を鋭く尖らす。この時瞬間接着剤を塗る手もある。後縁は厚み0.5mm程度のブツ切り上に仕上げる。途中ノギスや定規等で厚みや形をチェックをしながら正しい翼断面に仕上げる。全体がほぼ仕上がってから、下面中心部を重心バランスを見ながら、且つ、風がなめらかに流れるような形に仕上げる。この後2回ほどクリアー塗装をする。この時左右の重量バランスもチェックすること。

9. プロペラ軸の調整

ほぼプロペラが出来上がったところで、軸穴を真鍮パイプ外径に広げて差し込み(この時はまだ接着しない)、それにピアノ線を差し込んで、プロペラを回転させ、左右のブレをチェックする。この時シャフトを万力かセロテープで固定して、ペラの回転が正確にチェック出来る様工夫する。ペラのブレを何度も修正して、ほぼOKになったら真鍮シャフト部分に瞬間接着剤を点付けて、さらに回転をチェックする。この作業を数回繰り返してブレが無くなったら、軸に瞬間接着剤をしっかりと付ける。この時軸が詰まったらピアノ線をライターで赤く焼いて差し込むと煙を出して穴が通る。さらにペラの回転をチェックしてOKなら、ペラ左右の重量バランスをチェックし軽く回してペラが水平に止まるように重りで調整する。軽い方にさらに塗料を塗る方法もある。

10. 塗装

ペラが丈夫になるのでクリアラッカー、又はドーブを必ず10回以上塗る。

1回塗るごとに400番のサンドペーパーで磨いて、光沢が出るまでしっかり塗ると材料の劣化や狂いに有効である。

ペラに色を付けたい場合、カラー塗装よりも和紙貼りをお勧めするが、塗料(ク

リアラッカー等)貼りとする。この場合も毎回サンドペーパーで磨く。バルサペラの場合は強度的に弱いので、補強のためにもグラスクロスや紙張り勧める。この作業でも必ず左右の重量バランスを採る。ペラの完成重量は3gである。

11. プロペシャフトの製作と調整

LPの場合、空転装置は必須です。様々な空転装置がありますが、最も効率の良い空転装置は今回採用する方法です。この装置は少し複雑ですが、最も抵抗が少ない方法です。このシャフトは1.2mmのピアノ線を使っていますが、1.0mmでは曲がりやすく、仁木さんが使っている1.5mmはペンチで曲げるのが難しいのです。シャフトを取り付ける時はコメタルも必要があるので、どのような物を使うか決めておきましょう。プロペラが出来上がった時に美しくないダメ。美しいペラは必ず性能も素晴らしく実によく引っ張る……。

デンキドリの迷走

……平尾

デンキドリ、これまでアチコチ改良してきましたが、プロペラストップがまだ完全ではない。第1歩として、これまでの白い幅広ペラを幅の少し狭い黒ペラに交換した。これだと気流の影響を受け難いとの判断です。その結果は「アタリ」で1/2回程度はペラが停止し滑空に入ってくれました。さらに嬉しいことに黒いペラの方が回転数も上がって推力もあるようで、高度が増したのです。お陰で十分な高度を取り、滞空性能も2分程度はいけそうです。但しまだ不完全です。そこで次はペラたたみゴムの装着です。さらにモーター回路をショートすると良いらしい。但し、この現象は機械式タイマーのみに起こるようで、電子タイマーの場合はモーター駆動アンプで操作出来るので問題ないという。

ここまで来ればあと一息です。本機は皆さんのより翼が薄いので、上昇抵抗が少なく高度を取り、滞空性能も良いようで、他機よりやや有利と自負していますが、さて、次のどうですか。

雑談天国

美しい飛行機 1

……平尾

毎回テーマを決めるのは難産ですが、今回は「美しい飛行機」と大上段に構えての出発です。

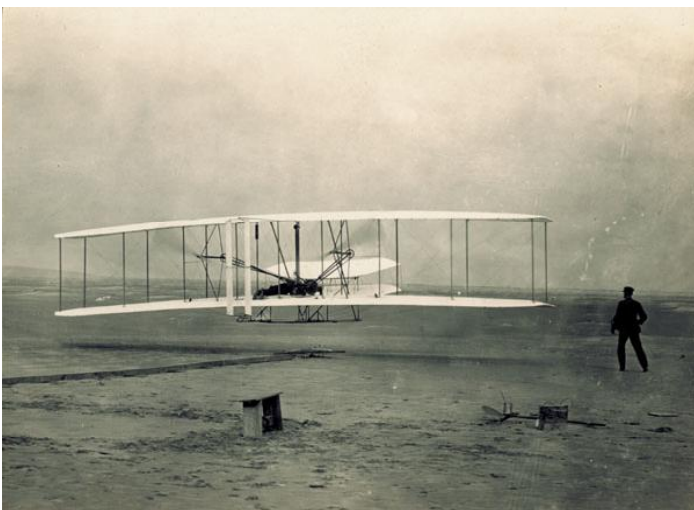
このところテーマがヒコーキから離れすぎて、非難轟々の様子が目に浮かぶほどで、身体に良くありません。そこで「模型飛行機は美しいないといけない」等、態度大きく言っているの、ここにこだわって見ようかとの「ヒラメキ」ですが、どうなりますか。

「美しい飛行機」というと皆さんバラバラでしょうね。創成期の「ライトフライヤー」が砂漠に浮かぶ姿の美しさから始まって第1次大戦の数々の名戦闘機、飛行航路開発創成期の伝説の名機、やがては第2次大戦の「ゼロ戦」を含む美しい殺人機達、そしてジェット戦闘機時代に入っのの名機の数々、コメットに代表される誰でも乗れる旅客機、平和な時代になっても何世代も続くジェット戦闘機群、そして現在の感覚的にどう言えばよいのか難しい「最新戦闘機群」と、この辺りまではどう述べたところで殺されることは無いとん踏んでいます。しかし、今も模型現役の方々の「美しい模型飛行機」となると、下手な事を喋って殺されるのはイヤなので、決して喋る気はありません。

美しい飛行機の定義は難物です。百人百様で5才の子供と言えども「ヒコーキ好き」となるとガンとて意見を変えないでしょう。ましてや、現在のFF屋ともなると「俺の意見」があるでしょうし……。

ライトフライヤー号

ライト兄弟は当時としては極めて高度な科学的視点から飛行のメカニズムを解明し、自らの風洞実験によって得たデータを元に何機かのグライダー試作機を作成した。初期には当時の飛行機開発の最先端を行っていたサミュエル・ラングレー教授から研究資料の提供を受ける等、沢山の実験データを収集すると共に、自作グライダーの実験回数もリリエントールらにこ



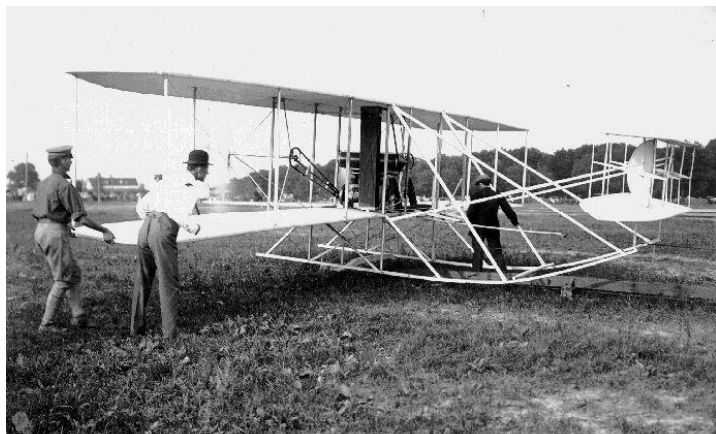
ライトフライヤーの飛行

比べてはるかに多く、それで操縦技術を身につけた。そしてそのグライダーに動力を追加し飛行することが彼らの戦略であつた。兄弟は実験のために「常に強風が吹いている場所」を調べて、キティホークを実験場所を選んだ。そして1903年末世界で最初の飛行に成功した。

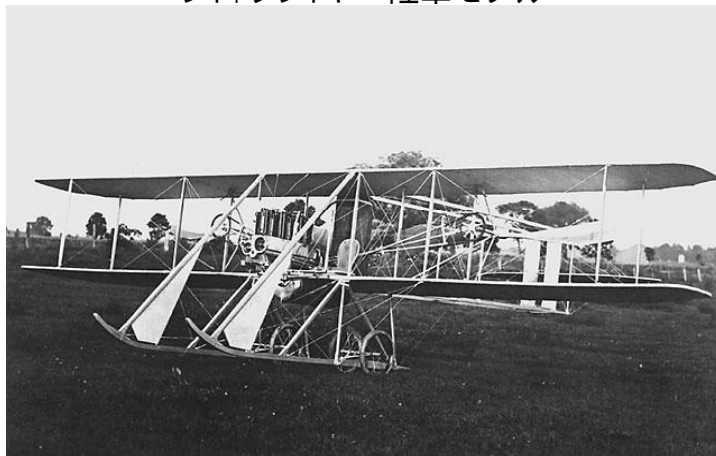
その機体は複葉で自作のガソリンエンジンを動力にチェーンで2ヶの直径 2.6mのプロペラを推進的に回して、相互のトルクを打ち消すために逆回転で駆動した。機体前方に昇降舵、後部に方向舵を備え、ワイヤーにより主翼をねじってエルロンとして作動させる等、あらゆる操縦装置を備えた画期的な飛行機であつた。機体中心にはエンジンがあるので、パイロットはその横に腹ばいに搭乗して操縦する。座ると違って操縦は難しかったに違いない。計 4 回の飛行を行い 4 回目の飛行では 59 秒間で 260mの飛行をした。

機体諸源 全長 6.4 m、全幅 12.3 m、全高 2.7 m、翼面積 47.4m²、重量 318 kg エンジン水冷直列4気筒 (4 l)、出力12 HP、最大速度 48 km / 時 翼面加重 6.7 kg / m²

ライト兄弟の飛行機には、過去の先駆者リリエントール等とは根本的な相違があつた。彼らは飛行機のさらに前を見据えていて、飛行機を人間が自由自在に操る乗物と考えていたのである。リリエントールの滑空機が過安定のFF機的なのにくらべて、ライト兄弟の飛行機は操縦性向上の為に、主翼に下反角をつけてわざと不安定にしている。そして実験段階から方向舵、昇降舵と主翼を捻る装置を装備していた。しかし彼らが最も苦労したのが、風にあおられての墜落であろう。その為に主翼を捻るエルロンを発明する事によって、機体を水平に戻すことに成功した。この事で彼らは飛行に絶対の自信を持ったのだろう。しかし、ここまで工夫しながら操縦者は操縦しにくい寝そべった姿勢であり、この事が後々ライトフライヤーの発展を阻害した。当時の乗物は箱馬車や船であり、それに似せることが早道であつたのに、それをしなかつたことがライト兄弟が後々航空業界の第1線に残れなかつた原因となる。以上のような事があつたが、飛行に成功すると同時にライト兄弟は「飛行機の操縦装置」に関するほとんどの特許を持つ事になった。飛行が成功する同時に、自由に操縦出来る飛行機としてライトフライヤー号の後継機を続々と生産され、それが販売されて各地を飛行した。最近、このライトフライヤーを復元したが飛ばなかつたとされているが、これは再現者が稚拙だからである。それが本当なら、その直後に生産され販売された飛行機が飛ばさずがない。



ライトフライヤー陸軍モデル



ライトフライヤー・モデルD

ライト兄弟の成功によって、ほとんどの操縦関係の特許を押さえられた結果、アメリカではライト兄弟以外では飛行機を作ることが出来なかつた。アメリカで特許問題でガタガタしている内に、ヨーロッパではライト兄弟の特許が認められず続々と新型機が誕生した。そして1909年にフランスで飛行機大会が開催された時には、ライト兄弟は何1つ賞を取ることが出来ず、すでに過去の人になりかかっていた。さて、ライトフライヤーのその後を見てみよう。

陸軍モデル、1909年製、

全幅 11.13m、翼弦 1.78m、主翼面積 38.6 m²、全長 8.82m 重量 333.7kg

初めてアメリカ陸軍が正式購入した飛行機。納入価格は 25,000 ドル + ボーナス 5,000 ドル。モデルAと似ているがスピードをあげるため翼幅を切りつめて軍の要求である 64k



ドベルデュッサン



ライトフライヤー・モデルL



アルバトロス D.Va

m/hを4km/hオーバーすることが出来た。この機体の方がライトフライヤー A型の改良で簡素で大変美しい。

モデルD・1912年製、

全幅 8.24m、翼弦長 1.07m 高速偵察機としての軍からの要求に応じて製作された。

スピードは110キロメートル/時。上昇率160メートル/分。ライトフライヤー号以降かたくなに守ってきた前尾翼がようやく終わりを告げた。しかし、まだチェーン駆動のプッシャーにこだわっている。この機体でおおよそ5000ドル。どう見ても凧の形の影響が残っていて乗物らしくない。同時期のドベルデュッサンと比べると飛行機らしくなく美しくもない。これでは誰も買うまい。

「ドベルデュッサン」1912年フランス製、木製モノコックボディのエアレーサー。エンジンはグノーム 14 気筒 160 馬力。全幅 6.65 m、全長 6.09 m、速度 200 キロ/時。

操縦方式はライトと同じ撓(たわ)み翼方式だったが、単葉機で性能的にも優れていて、形も現在の飛行機と変わらず美しい。

モデルL 1916年製

全幅 8.85m、翼弦長 1.98m、翼面積 34.85 m²、全長 7.32m、重量 385.9kg

陸軍の高速偵察機の要求に基づいて製作された機体。オービルが監督として参画したライト社最後の機種で、初めて近代的なエルロンが採用され、プロペラも一つになり近代的な形になった。しかし、同時期の他機と比べると、形ですでに遅れている。同時期のアルバトロスと比べると立体曲線部分もほとんどなく、飛行機らしい魅力がない。この形では模型飛行機を作る気にはならない。

「アルバトロス D.Va」1916年、

ドイツの主力戦闘機。全幅 9.02 メートル、全長 7.32 メートル、最大速度 188 キロ/時。エンジンはメルセデスの 180 馬力。この飛行機はライト兄弟が飛んでから、わずか13年しか経っていないが飛行機らしさにあふれていて現在見ても美しい。これと比べるとモデルLは性能以前に、飛行機としての魅力がなく誰も買わないだろう。世界に先駆けて自由自在に空を飛ぶ乗り物としての飛行機を考えたライト兄弟が、この時すでに過去の人になってしまった事は、天才と言えども特許にこだわって、返って飛行機の発達を阻害したと言われることは惨めである。兄弟の性格だったのか。この点について佐貫亦男氏は「フライヤーは蝶の様に美しかったが鳥にはならなかった」と巧いことを言っている。ヨーロッパの飛行機は早々と鳩や鷹に例えられる美しい飛行機を作った。

結果として、ライト兄弟の特許独占がアメリカでの飛行機発展を阻害する等々のクレームで、その対処に多くの時間を取られた。その様な経緯から、世界初飛行の偉業がアメリカでは中々認められず、ライトフライヤー号は1927年までマサチューセッツ工科大学の倉庫に保管されていた。その後、ロンドンの科学博物館が機体を展示したいとの希望をオーヴィルに伝えたので、しぶしぶ彼はそれを受

諾し、1928年にライトフライヤー号はイギリスに渡った。ライトフライヤーがアメリカに戻ったのは、実に第2次大戦が終わった後の1948年12月17日であった。初飛行成功の45年後の同日だった。

ライト兄弟の凄さは、その意志と何でも作ってしまう意欲である。「ライト兄弟は自転車屋だったので、ヒコーキを作るのりエンジン製作の方が容易だった」等々と日本で書いている人がいるが、何を言うとののだと思う。自転車屋でエンジンを作れる人が、はたして何処にいるのかねと聞きたい。

彼らのエンジンを調べると金属の無垢材にシリンダーの穴を開けたりせず、金属パイプを4本並べてシリンダーとし、それにピストンを仕込んでエンジンを作った様だ。但し、点火同期の問題や気化装置と吸排気等々、すべてを当時の知識だけで自作するとは、さすがにスゴイと思う。ライト兄弟は生来頑固だったようだが、世界初飛行の偉業と比べたら、多少未熟な人格等全く問題ではない。そして、多くの敵を作りながらも、財をなしたようなので人生としてはまずまずと言えようか。

ウイルバー・ライトは1912年に腸チフスで死去したが、オービル・ライトは第2次大戦後終了後の1948年に78才で亡くなった。自らが開発した航空機の恐ろしい程発展して、第2次大戦では航空機中心の大量殺戮戦争になり、ついには原爆を投下するB29が生まれたことに、大変心を痛めていたと言う。以上「ライトフライヤー号」ウイスキーペディア、及び「ライト兄弟のひみつ」より引用した。

新潟発・戦後65年今も残るキ54の作業台

……平尾

昨年の新潟大会で、かの細海工務店？に戦前の陸軍機を整備する作業台が残っていると言う話を聞いた。忘れかけた頃、手元によろやく資料が届いた。戦後65年も経っているので、どんな物なのか興味シンシンだったが、調べて見ると正に「珍品」である。



1. まず、キ54の紹介

昭和14年(1939年)に高等練習機開発が計画され、立川飛行機へ試作指示が出され、翌年6月に試作機が完成した。

立川は全金属製双発引込脚機の開発は初めてであったが、それまで九七式輸送機やロ式輸送機の生産に携わった経験を生かして設計を行った。この機体は視界の広い操縦席や大きな機内スペース、双発の信頼性の



高いエンジンを装備し、審査の成績も良好で昭和16年7月に一式双発高等練習機として制式採用された。機体のバリエーションとしては操縦・航法練習用の甲型、射撃・無線・爆撃練習用の乙型がある。その他に小型輸送機として8名分の座席と荷物室を持つ丙型も生産され、陸軍では万能機として非常に重宝がられたという。また、民間輸送機(名称:Y39型)としても使用された。生産は1945年(昭和20年)6月まで行われ、総生産機数1,342機であった。

* 全長: 11.94m、* 全幅: 17.9 m、* 全高: 3.58 m、* 主翼面積: 40m²、* 自重: 3,120 kg * 全備重量: 4,080 kg、

- * エンジン：日立八 13 甲 空冷 9 気筒エンジン 515HP × 2
 - * 最大速度：367km/h、* 航続距離：960km、* 実用上昇限度：7180 m、* 乗員：5 ~ 9 名
 - * 武装：(型によって異なる) 7.7mm機銃 × 4、爆弾 最大 1500kg (15kg × 10)
- 以上、インターネットのウィッキペディアより。

インターネット検索をしてもこの機体のデータはほとんど無く写真もこの1枚だけらしい。写真では100式新司偵を思わせる美しい機体であり、頑丈で使いやすい汎用機だったろうと推定する。

2. 珍品・キ54整備用の作業台

戦後65年経っているので、細海氏の親の代に手に入れた物かと想像していたが、そうではなく3年ほど前、有名造り酒屋の工事の時に偶然見つけて手に入れた物だという。この台は酒造りに使っていた物で、「キ54」を見つけて焦って話を付け5台手に入れたという。

実に頑丈そうな作業台である。これが本物どうか届いた写真を調べると、作業台上部の横棧に白地で「キ54」の記号が見える。外観は木部にクリア塗装のオリジナルのママのようで、正に貴重である。今後とも決して塗装などしないでそのまま使って欲しい。この台の上で長時間作業をする為に、折りたたみ式ではなく固定式である。写真で見ても実にしっかりした松材で高さは1.6m程あり、この高さが丁度エンジン整備に最適なのだろう。当時の軍仕様だと、利便性よりも頑丈さを要求され、半世紀以上経っても狂いはなさそうだ。この作業台は個人所有はもったいない気がするが、興味がない人にはゴミだろうね。航空機関係の施設に一台寄贈する手もあるが……。

編集雑記

……平尾

* 可哀相なプリンターのお話です。実はこの会報印刷に使っているプリンターは倅が10年ほど前に6千円で買った物で、ですでに10万枚近く刷ってます。こいつ旧型で機能はブアーだし、古くさいので3年ほど前にランチャーズの会費で多機能の新型を購入しました。こいつはプリンター、コピー、スキャナーの3つの機能がある優れたものですが、使ってみるとインクがバカ高く、白黒インクが200枚刷って約2千円、カラーは100枚程度で3千円もします。且つ、メーカーとして新型になるにつれてインクが稼ぐ姿勢が鮮明で、且つ、インクの互換性がないように様々な工夫をしています。

補充インクを使おうとすると、わざわざ使いに難い様に工夫しており、カラーインクは3色を1つのカートリッジに入れて補充インクが使えないようになっていきます。ふざけやがって……。

こんなの詐欺だよと思っていた時期に、ダイソーから100円インクが発売されました。古いプリンターでこの100円インクが使えます。カラーインクも100円で補充可能ですから、1回の印刷代がなんと1500円程度で済みます。これに味を占めて、以来旧プリンターを修理に出しては使っています。

修理代は2年に1回7千円程度ですから、すぐ元が取れます。そこで、もう1台旧型プリンターの購入を考えています。ダンダンと旧型プリンターの使い方にも慣れて、綺麗な会報が出来そうなので、当然これで頑張りたいと思っています。

* 前号のこの欄での「アホめ、バカめ」は決して使ってはいけない言葉であり、ここで心から詫言申し上げます。今後はこの様な事がないように致します。年をとると、どっかで箍が外れるので、変な会報にならないように努力いたします。さて以下はそのイワケです。

あの欄の「アホめ、バカめ」は全くの言葉足らずでした。そこで情報を調べ直し報告と致します。

問題の「1番を目指す」の言葉の真意は「一生懸命頑張ります」を数値化した表現です。ですから、質問の真意は「なぜ、一生懸命頑張るのですか」となるのです。この質問に貴方はどう答えることが出来ますか。質問者は元キャスターですから、わざと答えようのない質問をしたのです。

さらに1位を狙うか狙わないかは国が決めるべき事で、1位になって欲しければ多額の予算を与え、どうでも良ければそこそこの予算でしょう。ですから予算を貰うのに「2番で…」と申告する事はあり得ません。こんな質問があること自体変な話で、まさに「ウケ」狙いの確信犯です。しかし、この言葉をそのままに理解すると、国が十分な予算を付けてくれない時は、1番を狙う必要はなく、そこそこにやればよいことを国が認める事になりますが、それでイイのですか。

「1番」の問題の場面をチェックしましたが、答弁はキチンとしていました。しかし、あの仕分けの形式は質問者が勝手に質問をして、答弁が適切かどうかは質問者が判断するわけです。ですから質

問される側に元々勝ち目はありません。どう答えようと質問者は「納得出来ない」と宣言すれば勝ちなのです。当然ながら質問者と判定者は別けるのがフェアであり、この形式の事業仕分けを続けるのであれば、あらかじめ「合格回答」を作って伏せておくか、または公表すべきです。虚偽の答えをした場合は免職にすればいいので、そうしない限りこの仕分けはまさに「いじめ」でしかありません。

氏は過去の経験からナマ放送の効果を十分に知っていて、この場で勝ちさえすれば良く、後で責められることも覚悟の発言なのです。しかも、マスコミでの発言ミスは許されませんが、国会議員の方が何でもありますから楽なのです。もともと氏はこの手の質問は大の得意で、国会で2006年3月24日に猪口国務大臣が返答が出来ない事を見抜いて、ウケ狙いの実にいやらしい質問をしています。参考までに、以下議事録からの抜粋。

〇〇君 お手元にパンフレットの資料をお配りしておりますけれども、この共済制度は障害児の保護者が入る私的保険制度の一種として始まったものです。障害を持つお子さんを育てている保護者の最大の悩み、考えるとつらいのは、自分が死んだ後、子供は生活していけるのか、もっと言えば生きていけるのだろうか、こういう不安の声にこたえたのが障害者扶養共済制度なんです。猪口大臣はこの制度を御存じでしたでしょうか。障害児も大切な命と考えるとこの制度をどのように思われるか、併せてお知らせください。

国務大臣(猪口邦子君) この制度を私が知っていたかということでございますか。この質問に来るまでももちろん当然勉強してきております。そして、これが重要であるというふうに認識しております。

〇〇君 この質問の通告をしなければ知らなかったと理解をさせていただきます。

この発言に対し、与謝野馨は、BS フジの番組PRIME NEWSの中で、猪口元大臣のお子さんは障がい児なのだと言うことを暴露して、「実に女の嫉妬心が出ているいやらしい質問であったと同時に、大変失礼な質問だった」と非難した。

以上は一般論です。氏はマスコミ時代はどちらかというと憎まれ役に近く、そのまま国会議員になり試行錯誤していたと思います。政府としては「予算削減」を掲げての事業仕分ですから、役割そのものが敵役です。そして今回そのキャリアを生かす方向で氏が選ばれたので、その役の中でどこまで自分らしさを出して世間に認められるかは、なかなかの難問でした。そこで氏が苦心惨憺して考えた中で最も注目されたのが「1番でない」との発言です。この発言の功罪は相なればしますが、良い面は、事業仕分けが日本中が注目するニュースになったことでしょう。悪い面としては、各界がこぞって非難ゴウゴウで、氏や強いては民主党自体の見識を問われる事態になりました。しかし、氏以外に誰がこの事をなしたのでしょうか。このお陰で氏は今回選挙で多大の得票を勝ち得て、ましてや党を代表しての応援にまで駆り出されたのですから、この実績は評価しなければなりません。今後は氏が善玉役で評価されることを期待しましょう。

* 最近やたらと暑い上に暇が増えて雑学に磨きをかけてますが、正倉院のドキッと話す話を1つ。

日本には正倉院のような古代の校倉造りは全国で8棟残っているというが、その内の世界最古は正倉院で、天平勝宝5年(753年)完成とされている。さて、正倉院そのものと、その中の収納品についてもあまり知られていないが、今回は驚くべき数の宝物の1部を列記してみた。

文書等15,000点以上、仏教経典等約5,000巻(隋唐時代の243巻(600年以降)を含む)、双六子等285具、太刀、弓+矢(50隻(せき)を単位とする)、甲等を各々100を単位として櫃に分納されている。屏風100畳、等と何ともスゴイ数である。当然ながら一振り数千万円する刀がゴロゴロあるだろうね。また、正倉院の記録から見ると王羲之(4世紀)の真筆が発見されるとすれば日本である。

徳川家康が幕府を開いてまず最初にしたのが、何と正倉院の修復である。家康とは何者ぞ。院にはまだ整理されていない物も多々あり、さらなる発見も期待出来る。まさに世界の宝である。

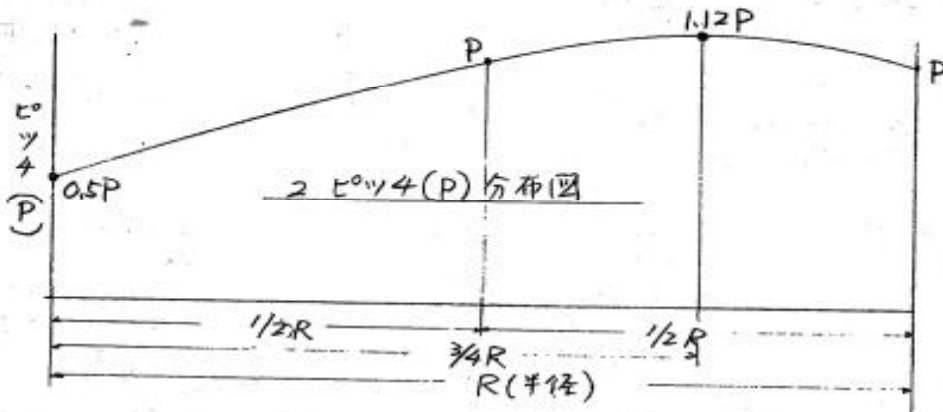
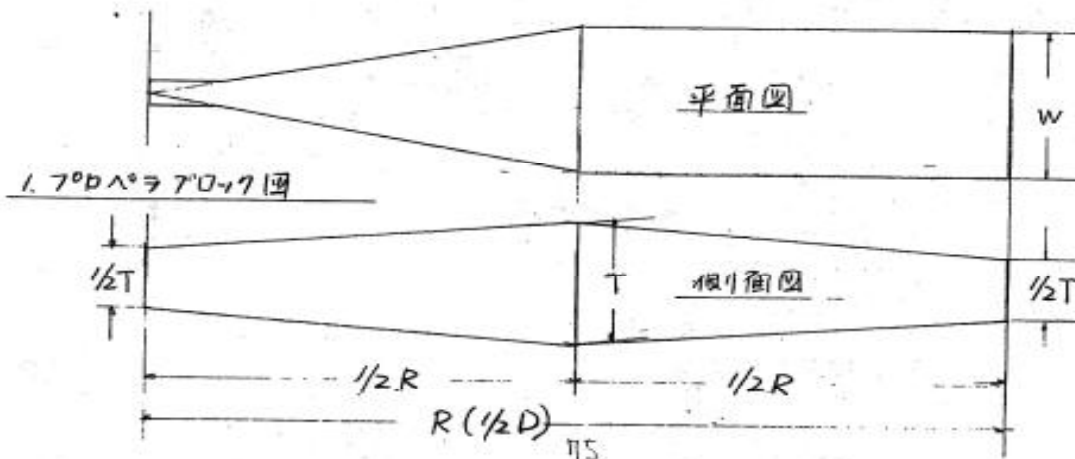
ついでに漢籍(中国書籍)の話。日本には膨大な漢籍がある。東大だけで10万点、その他国立、仏教系、民間等の分を合算すると100万点はあるだろう。日本が中国に使節を派遣して以来、全ての使節団は手に入れた全ての金品を売り払って書籍を購入したというのであるから、もっと古くから頻繁に派遣していれば、もっと古く、もっと沢山残ったのである。世界に先駆けて「残す素晴らしさ」を発見したのはまさに「正倉院」であり、これぞ日本の誇る文化である。

勝手な追記 石井英夫「マックスウエル・プロペラ図面」です

会報の頁構成を失敗しての追記です。HLGの図面をと思ったのですが、手元に石井英夫氏の「マックスウエルプロペラ図面」があったので、それと近所の人から「プロペラの設計は難しいの…」等々の質問もあったので、コロッと気が変わってプロペラです。この図面の解説は過去に発表されているので調べてください。このままでもよく読めば「プロペラ設計が出来ます」。プロペラ径(R)、ピッチ比(P)、ペラの巾(W)を勝手に決めればOK、そいつがイイかどうかは自分で試す…

マックスウエル (Maxwell) プロペラ図面

2003. 1. 29 石井英夫



3. ピッチ直径比(P/D)と $\frac{\text{アローケ厚}(T)}{\text{アローケ幅}(W)}$ の関係

P/D	T/W	P/D	T/W
0.8	0.51	1.2	0.76
0.9	0.57	1.3	0.83
1.0	0.64	1.4	0.89
1.1	0.70	1.5	0.95

P = 公稱ピッチ